

一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年 5 月 29 日

前

午 0 時 6 分 受付
後

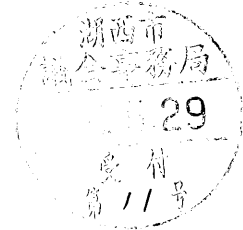
下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 5 年 5 月 29 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 佐原佳美

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 <input type="radio"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
1	地方創生臨時交付金の追加・増額された「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」の活用について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	地方創生臨時交付金の追加・増額された「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」の活用について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>政府は、3月22日、物価高に対する追加策として各自治体への地方創生臨時交付金1兆2000億円の増額、積み増しを決定し、<u>低所得世帯支援枠5000億円プロパンガス代の負担軽減など地域の実情に合わせて活用できる経済的支援の推奨事業分に7000億円を充てると示しました。</u></p> <p>そこで、この間に市民の皆様から頂いていた物価高に対するご要望を、3月28日、公明党湖西支部より影山市長に「物価高騰対策について緊急申入れ～地方創生臨時交付金の使途について～」と題して要望書を提出しました。</p> <p>当市の地方創生臨時交付金追加分の低所得世帯支援は、5月の臨時会にて一世帯3万円の支給分を補正予算(第3号)で承認しましたが、<u>地域の実情に合わせた支援事業のメニューは、現在公表されていません。</u></p> <p>(質問の目的)</p> <p><u>地方創生臨時交付金追加分の内の内閣府「推奨事業メニュー分」湖西市枠分をLPガス代や学校給食費の負担軽減など3月28日に提出した要望事項を含む、より市民の実情に則した支援事業に活用して頂きたい。</u></p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地方創生臨時交付金の追加・増額された「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」の活用についての考えを伺う。 2. 公明党湖西支部が要望(3月28日提出)した「物価高騰対策について緊急申入れ～地方創生臨時交付金の使途について～」の主な内容と希望する支援策は次のとおりです。 <ol style="list-style-type: none"> ア) LPガス利用世帯に対する支援 イ) 幼稚園・保育園・小中学校などの給食費や教材費の支援 	

- ウ) 高齢者, 障がい児者施設のデイサービスや保育園等の送迎車両と医療・福祉訪問型支援サービス車両の燃料費支援
 - エ) 障がい児者の生活介護や療育訓練に市外に家族送迎する車両への燃料費支援
 - オ) 人工呼吸器、在宅酸素等を装着して在宅療養をしている医療的ケア児者の家庭への物価・光熱費高騰対策
 - カ) 多胎児や多子家庭への物価・光熱費高騰対策費支給
 - キ) 農業生産資材（肥料・段ボール箱等）の価格高騰による離農の防止を小規模農家等に講じる支援
 - ク) 飲食業を含む中小事業者への物価・光熱費高騰対策
- 以上の内容について、市の考えを伺う。

3. 物価高騰対策とした地方創生臨時交付金追加分で予定している事業は。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和5年5月30日

前
午8時48分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年5月30日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 土屋 和幸



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	高齢者世帯の生きがい対策・見守りについて
2	子育て支援センターの利用者と面談における質問について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	高齢者世帯の生きがい対策・見守りについて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市内には3,000人余の一人暮らしの高齢者がいらっしゃいます。夫婦世帯数では遥に多くなります。このことから高齢者世帯の見守りについて市の考え方をお伺いいたします。</p> <p>私は、例えば</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どのようにしたら地域の人たちと関わり持って生活を送ることができるか。 2. 「見守り家電」の普及 3. 訪問サービスのさらなる充実 <p>どれも大切なことだと思います。</p> <p>特に「友だちの数で寿命は決まる 人とのつながり最高の健康法」という説もあります。各地域で行っているふれあい・いきいきサロンのようなことがもっと多くの参加者を得て実施できないかと思います。そのようなことからお伺いいたします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>高齢の方々がこれからも湖西市で明るく楽しく暮らせることを願います。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者向け生きがい対策ではどのような事業がありますか。 2. 今後の高齢者世帯、一人世帯の予測と課題について伺う。 3. 「孤独死」を防ぐための施策について市の考えを伺う。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	子育て支援センターの利用者と面談における質問について
質 問 の 要 旨	
<p data-bbox="231 521 730 560">(質問しようとする背景や経緯)</p> <p data-bbox="210 573 1362 770">議会だより編集委員として、昨年子育て支援センターへ訪問致しました。その折に市に対して要望されました事項があります。議会だよりへの掲載後、市の考え方を聞いていませんので、改めてお伺いいたします。</p> <p data-bbox="231 896 440 934">(質問の目的)</p> <p data-bbox="210 947 1358 1039">子育て中の若いご夫婦の素直な疑問と要望に対して市が応えて行こうとする姿勢を示していただけることを期待する。</p> <p data-bbox="231 1111 405 1149">(質問事項)</p> <ol data-bbox="220 1167 1358 1361" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="220 1167 1358 1258">1. 駐車場があり、年齢に応じた知育遊具があり、外遊びが楽しくなるような公園が欲しいとの声に対する市の考えを伺う。 <li data-bbox="220 1328 1050 1361">2. 産婦人科医院の充実について、市の考えを伺う。 	

一 般 質 問 通 告 書


令和5年 5 月 30 日

前
午10時 09分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年 5月30日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 山本晃子  (署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題	
1	新型コロナウイルスワクチン及び市職員のマスク着用について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	新型コロナワクチン及び市職員のマスク着用について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>令和2年に新型コロナウイルスが流行してから3年が経過しました。このウイルスへの対応策として政府はワクチン接種を実施し、本年5月8日からはこれまでの「新型コロナウイルス感染症対策」から「一般的な感染症対策」へと移行されました。</p> <p>本年3月に三上議員から新型コロナ関連の一般質問があったことは承知していますが、その後、コロナ対策についての状況等も変わってきており、改めて質問をさせていただきたいと思えます。</p> <p>厚生労働省が公表した人口動態統計（速報）において、2022年の国内の死亡者数は158万2033名で、前年より12万9744名（8.9%）増え、2022年の国内の死亡者数、前年比の死亡増加数ともに戦後最多となっております。一部のメディアにより、この超過死亡の原因のひとつが新型コロナワクチンによるものと考えられると報道されています。</p> <p>ちなみにコロナ死者数は累計で7万4千人です。</p> <p>なお、湖西市においても2021年の死亡者数は567名、2022年の死亡者数は646名です。前年比79名13.9%の増加となっており、過去5年間で最も多い死者数となっています。</p> <p>また、本年4月28日に開催された厚生科学審議会での新型コロナワクチン副反応疑い報告の資料によりますと、死亡者数は2,058名です。</p> <p>医療機関からの副反応疑い報告では、副反応疑い報告数が36,301件、重篤報告数が8,537件となっています。</p> <p>今述べた状況から安全性に懐疑的な状況と言わざるを得ないのではないのでしょうか？</p> <p>従来型のワクチンにおいても副反応によって被害があった事は承知しておりますが、昭和52年から令和3年まで過去44年間において予防接種健康被害救済制度で認定されたのは、3522名。内死亡者数は151名。一方で新型コロナワクチンによる被害として認定されたのは、2,595名。内死亡者数は53名。同一期間に換算</p>	

すると認定者数で、16倍、死亡者数では7.7倍です。

更に審議待ちの4,532名も考慮すると、本当に多くの被害者がわずか2年間で出ていることがわかります。

また、最近救急車をよく見かけますが、総務省が発表した令和4年中の全国の救急出動件数は722万9,838件（対前年比103万6,257件増、16.7%の増）、搬送人員は621万6,909名（対前年比72万5,165名増、13.2%増）で集計開始以来、最多となりました。

湖西市の令和4年の救急出動件数は2,469件（対前年比301件増、13.9%の増）、搬送人員は2,278名（対前年比248名増、12.2%増）であり、例年に比べると大幅に増加（全国調査に比例）しており、新型コロナワクチンが影響しているのではないかという市民の皆様からの心配の声も届いております。

今年の9月からは、65歳未満の健康な方を対象として6回目の新型コロナワクチン接種が開始される事と思います。新型コロナワクチンを6回も接種しているのは日本だけで、人体にどのような影響が出てくるのか誰にも予想できないと言われております。この状況で繰り返し接種して本当に大丈夫なののでしょうか？

京都大学名誉教授の福島雅典先生や名古屋大学名誉教授の小島勢二先生をはじめ多くの研究者や医師がコロナワクチンの有効性について疑義を呈され、メッセージーRNA型ワクチンは複数回接種する事でコロナウイルスだけでなく正常な細胞に対しても攻撃が始まり自己免疫疾患になる可能性があるかと訴えられております。

新型コロナワクチン接種を推奨するのであれば、市民が正確に判断できるよう、信頼性の高いネガティブ情報についても積極的に情報提供を行うことが市民の生命と財産を守る市としての役割ではないかと考えます。

また、厚生労働省の指針として本年3月13日より、マスクの着用は個人の判断が基本となる旨通達され、5月8日からは、指定感染症の分類が2類相当から5類に引き下げられました。しかしながら、多くの湖西市役所職員の皆様は窓口対応される際にマスク着用をされています。これが常態化してしまうのではないかと懸念しております。これらを踏まえて質問させていただきます。

(質問の目的)

市民の皆様にデメリットを含めた正しい情報を基に、新型コロナワクチン接種をするかしないかを冷静に判断をしていただくため。また、市職員の皆様のマスク着用の現状把握のため。

(質問事項)

1. 新型コロナワクチンの安全性に関して湖西市としてどのように評価されているのか、見解をお聞かせください。
2. 湖西市における新型コロナワクチンによる死亡者、重篤者、副反応疑いの人数をお教えてください。
3. 改めて新型コロナワクチンに関する信頼性の高いネガティブ情報、いわゆる新型コロナワクチン副反応疑い報告による死亡者数、副反応疑い報告数、重篤報告数等の最新データを市民の皆様にわかりやすくホームページや接種券送付の際に記載すべきだと考えますが、その予定はありますか？
4. 市民の皆様が適正な判断が出来る様、本年秋以降の接種対象者に関しては、いきなり接種券を送付するのではなく、申請式としていただく事は可能でしょうか？
5. 湖西市役所職員の皆様のマスク着用の現状について教えてください。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

R5年 5月 30日

前
午 11時 58分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 5年 5月 30日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 三上 元



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	市長の原発に関する考え方を問う
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市長の原発に関する考え方を問う
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>中日新聞が県内首長に原発に関するアンケートを実施し公表した。湖西市市長は2人の原発推進派と報じられた。</p> <p>報道は大雑把なので、もう少し市長の本心を聞きたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>浜岡原発から60Kmの湖西市。万一事故となれば被害を被る市民の重大な関心事なので、市長の原発に関する考え方を多面的に知りたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あらゆる建造物は、想定耐用年数を持って作られる。「想定は40年、最長でも60年」は極めて妥当だと福島事故後に野党時代の自民党も賛成して決められた。 <p>しかし、今回のさらなる稼働年数の延長は危険とは思わないのか。</p> 2. 「原子力規制委員会の適合審査に合格した時には再稼働に賛成しますか」の質問に影山市長は賛成と答え、「安全性が認められることを条件に賛成」と付記している。 <p>安全性が認められる時とは、どんな時を示すのか。</p> 3. 地震や津波と同時に原発事故となった時に、60Km圏の市民が避難できるのか、電力会社に巨額な賠償金を払う力があるとは思えない、といった2つの問題があるが、このような状況で稼働してもいいと考えるのか、市長の考えを伺いたい。 4. 廃炉後の原発の建て替えも「容認する2人の首長」と報じられているが、影山市長のコメントにある「安全性が高く、効率の良い原発」は何年後にできそうだと推定しているのか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和5年5月30日


前
午11時59分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年5月30日



湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員  (署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	新たな市民会館の整備と湖西市のまちづくりについて
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	新たな市民会館の整備と湖西市のまちづくりについて

質 問 の 要 旨

(質問しようとする背景や経緯)

少子高齢化と人口減少への対処は今まさに我が国全体の大きな課題です。湖西市においても人口は減り続け現時点では6万人を割っており、将来の湖西市存続のためにも、大胆な対策が必要だと感じています。今湖西市でも地方創生への様々な取り組みを実施していますが、いまひとつこれといった象徴的な施策がなく、地域の活力が無くなってきているように感じます。特に今でも一般質問してきましたが、地域によっては著しく高齢化と人口減少が進み、子供の数も少なくなって小中学校の統廃合問題も起きています。

最近の高齢化や人口減少を食い止めるのはそう簡単ではありません。むしろそのような高齢化、人口減少する地域をどう暮らしやすい地域として整備するかということが重要ではないでしょうか。

まちの元気は、絶対数としての人口規模で決まるのではないと考えます。人々が暮らすまちをどんな形に作るのかという設計次第で、まちの活気はいくらでも生み出せる可能性があるということです。

そのために基本として考えることは、地域での交流を絶やさないことだと思います。地域での交流があるからこそ、人のつながりができ、地域の活性化が図られ、支え合う構造ができるのではないのでしょうか。それにはそのような人が交流できる場の整備が必要です。そのためのシンボリックな施設として市民ホールなどが候補になると考えています。

その地域をどうしていくべきか、私たちのまち湖西市に合ったしっかりとした新しいグランドデザインが必要であると思います。

(質問の目的)

湖西市として行政がしっかりとグランドデザインを示し、それに沿ったまちづくりをすることが求められていると考えます。文化的で豊かなくらしの創造をふまえて、新しい市民ホールの整備にとりかかるのかなど、湖西市のまちづくりの基本的考え方について明らかにします。

(質問事項)

1. 全般的に見てみると湖西市内の市街地は分散しています。このような人口が分散している状況で、湖西市のまちづくりの基本的な考えがどこにあるのか、また将来展望についての見解をお聞きします。
2. 現在、湖西市では人の交流を実現する場としてどのような施設があるとお考えでしょうか。
3. 現在市では、市民交流複合施設の整備を検討されていますが、その後の動きはどうなっていますか。
4. 市民のための芸術文化の創造拠点となる、また魅力あるまちづくりへの投資となるべき新たな市民会館の整備についてどのようにお考えでしょうか。
5. 湖西市のあらゆる地域に人が行きかう拠点が存在する、そのようなまちになったらよいと思いますが、市はどのようにお考えになるでしょうか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること